

大木地区に新しい防災拠点が完成しました



大木地区の防災拠点として、防災倉庫を併設した泉佐野市消防団 大土分団大木車庫が完成しました。この施設は土砂災害の恐れのあるときに、避難場所として活用できます。

この防災拠点には消防団の小型動力ポンプ積載車や軽ダンプ車を配備し、災害発生などの有事の際に早急に必要となる防災資機材も格納します。

主な備蓄資機材
食糧、毛布、簡易トイレ、炊き出しかまど、発電機、ダンボールベッド、ブルーシート、ロープ、スコップなど

災害時に必要となる物資資機材の備蓄を行っています

泉佐野市では、住民の安全安心確保のため、泉佐野市役所防災備蓄倉庫をはじめ、平成12年に末広公園防災備蓄倉庫、平成30年に泉佐野南部公園防災備蓄倉庫を設置し、防災備蓄体制の整備に努めています。また5月からは、大木地区の防災拠点として消防団車庫を併設した大木防災備蓄倉庫が完成し供用を開始しています。

これらの防災備蓄倉庫が地域の防災拠点のひとつとなり、その役割を十分に果たし、各防災備蓄倉庫の設置場所などについて広く住民に周知するため、防災備蓄倉庫条例を制定しました。

設置場所・主な備蓄物資

●泉佐野市役所防災備蓄倉庫
(市場東1丁目295-3) …水中ポンプ、エンジンポンプ、コードリール、発電機、投光器、拡声器、木杭、長靴、懐中電灯など



●末広公園防災備蓄倉庫
(新安松1丁目1-23) …食糧、毛布、ダンボールベッド、カセットコンロ、カセットボンベ、発電機、炊き出しかまど、ロープ、スコップなど



●泉佐野南部公園防災備蓄倉庫
(南中樫井897-2) …ブルーシート、土のう袋、ロープ、フェイスタオル、軍手など

●大木防災備蓄倉庫 (大木1438-1) …上記の囲みを参照

地域の防災拠点となる避難所にも備蓄を行っています

災害発生時などにおける避難所の生活環境確保を目的として、早急に必要となる防災資機材を格納する防災備蓄倉庫を青少年課事務所(上瓦屋610-3)に整備しました。

※地域の防災拠点となる避難所19カ所には、平成29～30年度に防災備蓄倉庫を設置しています。

主な備蓄資機材 毛布、簡易トイレ、炊き出しかまど、発電機、ダンボールベッド、ブルーシート、ロープ、スコップなど

